



答弁中の中嶋町長

医療

中学3年生卒業まで医療費を無料に

県の動向をみて

問 福岡県が子ども医療費の助成拡大を検討しています。仮に、県が通院・入院とも小学6年生まで医療費を無料化する場合は、市町村に対する補助割合は、現行基準が維持されれば50%です。この軽減分を

使えば、中学3年生卒業までの医療費無料化は可能になります。

中嶋町長に「子ども医療費

中学3年生卒業まで無料化」を検討していただきたい。

過去にも、糟屋地区市町長会で検討されましたが、結論までには至りませんでした。

今後、県が通院・入院とも小学校6年生まで医療費を無料化するならば可能になるかもしれませんが、現在は、県では決まっています。

福岡県の動向を注視しながら糟屋地区市町長会で検討していく問題であると考えています。



児玉 求 議員

産業

地方創生、独自の取り組みは

総合戦略の策定

問 地方創生が政府の政策として進められています。須恵町でも交付金を利用した商品券事業が過去最高額で予定されています。将来の人口減への対策として始まった地方創生戦略は「自らの地域資源を活用した、多様な地域社会の形成を目指す」とうたっています。

そこで須恵町には、多くの

優良企業が存在します。一般には有名でなくても、業界ではトップクラスの実力を有する企業は、多様な意味で須恵町の財産といえます。地方創生の流れを活用して、町が企業の強み・持ち味を活かした、互いに効果的なイベントや事業などの取り組みはお考えでしょうか。

答 中嶋町長



田ノ上 真 議員

須恵町は、人口が緩やかに右肩上がりで伸びてきています。その中で、将来の「人口ビジョン」を基本に「産・官・学・金・労・言」の有識者会議等を設置し、具体的な施策をまとめた、地方創生「まち・ひと・しごと総合戦略」の

安全

憲法9条を破壊する「戦争法案」に反対表明を

問

安倍内閣の「平和安全法制」という名の戦争法案は4月20日付の日本経済新聞で、賛成29%、反対54%と、過半数の国民が反対しています。

「平和安全法制」とは名ばかりで、中身は「海外で戦争をする国づくり」です。法案は「平和」とも国民の「安全」とも全く無縁のものです。アメリカが世界で行う戦争に自衛隊が支援・参戦する戦争法案です。

町民の生命と安心・安全を守る町長は、この法案に反対すべきではありませんか。

答 中嶋町長

安全保障関連法案の反対表明をということですが、国政の柱である外交・防衛の問題であり、国会において審議されている案件です。

イデオロギーにも関わることであり、この問題については、基礎自治体の代表としての見解を述べよと言われましても、個人的見解であってもコメントは差し控えさせていただきます。

安全

歩きやすい歩道の実現を

歩道をセミフラット型に

問

町内を歩く際、歩きにくい歩道が見えます。特に、車両乗入れ部の勾配が急で、ベビーカーを使用する母親やカートを押す高齢者が、車道に引きずられて危険を感じるという声を聞いています。

今後新設の時は、弱者に配慮した設計を願うとともに、既設の歩道も順次改良を願いたいと思います。

答 中嶋町長

昭和40年から平成3年まで

のまちづくりに、どのような連携ができるか、町の課長補佐会を中心に勉強会を開き、向こう30年を見越したプランも検討していく必要があるのではないかと考えています。

の道路構造令では、道路と歩道の段差が20センチほどあるマウントアップ型を採用して

いました。今後は、用地の関係もありますが、段差が5センチ程度のセミフラット型の歩道に移行していきたいと思っています。

また、歩道上に、ガードフエンスを利用した椅子の設置や、バスカットや歩道の広い場所には、ベンチを置くなどの対策も考えていきたいと思っています。